

ハタラク

HATARAKU vol.18

これから就職を考える高校生のみなさんに働く素晴らしさを伝えるシリーズ企画。



働いて、楽しい!

▶ PUSH START BUTTON

釧路の街で、ハタラク!

家をつくる、ビルをつくる、橋をつくる、道路をつくる。この街をつくるのは職人さんです。そんな建設・土木業界で働く若者たちにスポットを当て、働くことについてインタビューしました。

今回は(株)残間金属工業の中村 光保さんです。



PROFILE

なかむら みほ

中村 光保さん(24さい)/**(株)残間金属工業**

釧路東高等学校卒業後、住宅関連の塗装会社に就職。現職の下請けの塗装会社への転職を経て、金属加工職人として現会社に入社。鉄骨を扱う第1工場、中型加工を行う第2工場を経験し、現在のステンレス加工を行う第3工場で勤務。平成28年4月にステンレス基本級を取得し、専門級の取得を目指している。

Q.01

この業界に進んだキッカケは？
また仕事の魅力はなんですか？

自分はこちらの第3工場でステンレスの薄い鉄板を加工して、手すりや給食の台車を作る仕事をしています。職人の多い家系で、中学生の頃から塗装の手伝いをしていたので業界へ自然に馴染めました。早く働きたいと思っていたので、高校へも進学する必要がないと思っていたほどです(笑)。やりがいを感じるのは自分が作ったものをプライベートで見かけたときですね。仕事をしている最中は実感が湧かないので、「これを自分がやったんだ」と達成感を覚えます。

Q.02

男女差を感じたことは？
仕事で気をつけていることはなんですか！

第1工場のトップが女性の方なので、特に男女差を感じることはありません。重いものはみんなで運びますし、運搬機械もあります。それに基本的に、男ができれば女もできるという男女平等なスタンスです。辛いと思ったことはありません。仕事では数ミリのズレが全体の歪みや脆弱性につながるので、プロとして正確に行うよう心がけています。私はまだ2年目で、自分では上手くできたと思って先輩からは指摘を受けたりするので、早く一人前になって更に必要とされる人材になりたいです。

▶ My 装備品

板金加工工具

ハサミは直線や曲線など用途に合わせて使用。鉄板に傷をつけたくないときは木製の木づちをします。中央の鉄の塊は、板金のプレス加工用のノミ。



ステンレス加工の専門級を目指して勉強中です!



インタビューの内容は、WEBサイトにてご覧いただけます!

職業訓練法人 釧路地方職業能力開発協会

釧路市鳥取南7丁目2-20 / Tel.0154-52-1150

釧路地域職業訓練センター内

WEBサイト <http://www.hatara946.com>

※釧路市受託事業 「職」の再発見事業

